

長崎県幼児教育センターだより



No. 3



2024. 5. 28



～訪問支援の申込み、続々！～

早くも紫陽花が咲きそろい、夏のような陽気の日も増える中、各園では自然の生き物との触れ合いや外遊び等、子どもが元気いっぱいに活動していることと思います。さて、今年度は「学ぶ保育士等応援事業」も始まり、県幼児教育アドバイザーへの訪問支援依頼が続々と舞い込んでおります。訪問先では、いつも熱心に学ぶ先生方の姿に出会います。その真剣な眼差しや深い頷きが明日からの保育の充実につながっていくのだなと確信しています。どうぞこれからもどんどんご活用ください。

～読みたい本が いつも子どものそばにある～

この度、本県における子どもの読書活動の推進を図るため、「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」が策定されました。本計画は「読みたい本が いつも子どものそばにある」を基本テーマに、「人々のつながりを生かした読書活動の推進」「子どもの主体的な読書活動の推進」「多様な子どもの可能性を引き出す読書環境の整備」の3つの柱で取組を進めていく計画です。

幼稚園・保育所・認定こども園・学校では、「引き出そう！読みたい 知りたい 伝えたい」がキーワードとなっていますので、子どもが自然と絵本に親しめるような保育者の働きかけや環境構成のより一層の工夫をお願いいたします。このセンターだよりでも、各園における読書推進の取組や工夫についてご紹介したいと考えておりますので、「楽しい取組、始めました！」といったお声がありましたら、いつでも当センターへご連絡ください！



○「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」掲載ページ

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shogaigakushushakaikyoiku/kodomodokusyo/kodomodokusyosuishin/>



～諫早市とんぼ保育園の園内研修から～

昨年の通信で、山口アドバイザーが図書ボランティアの活動等を行っており、様々なスキルやノウハウがあることから、読書に関する園内研修のご提案をさせていただきました。そして、この度、読書に特化した園内研修を諫早市とんぼ保育園が実施されましたので、その研修の様子をお伝えします。

吉岡園長先生は、県の生涯学習課から発行された「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」を熟読され、県の読書推進に係る園での取組の方向性を把握した上で、絵本から広がる遊びや絵本の着想を生かした制作、行事などを工夫していきたいとお話されていました。また、研修を受けた先生方からは、大変嬉しいお声をいただきました！

- 発達段階に合った絵本を提供していきたいと強く思った。絵本から広がる遊びの展開をもっと考えていき、子どもたちがわくわくできるような遊びを提供していきたい。
- 絵本の中から何を選び、どんな事に気を付けながら読んでいった方が良いのかを学ばせていただきました。すぐに保育に生かせる内容でとても興味をもてました。
- クラスの園児の興味、関心、つぶやきなどにアンテナを張り、自分自身の絵本への理解を深めたいと改めて感じる事ができました。



読み聞かせの導入を実演！



絵本からわらべうた遊びへ



山口AD作 エプロンシアター
手袋シアター、パネルシアター



玄関前にいつでも本が手に取れる
また親子で読書できるスペース
学級ごとに絵本コーナーも設置



本棚の一番下には、絵本の
キャラクター付きの手作り椅子！
楽しく読書ができそうです



絵本から制作へ

～ご協力をお願いいたします！～

先日、回答にご協力いただきました「幼稚園・保育所・認定こども園実態調査」の項目に、読書の取組について新たに追加をさせていただきました。その中で様々な取組の工夫を行っている園の実践を広く、皆さまへお伝えしたく、今後、電話での聞き取りや施設見学等でお声をおかけすることがあるかもしれません。その際は、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：石田 久美子)